

【学習目標/学習方法】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことをねらいとします。

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計45h
	美術基礎、グラデーション、鑑賞 実技8h 鑑賞3h				夏休み	デザイン、絵文字、鑑賞 実技20h 鑑賞2h				冬休み	石のレプリカ、工芸、鑑賞 実技10h 鑑賞2h		
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計35h
	塑像、鑑賞 実技9h 鑑賞1h				夏休み	工芸、デザイン、羽子板制作、鑑賞 実技13h 鑑賞2h				冬休み	堆朱工芸、鑑賞 実技8h 鑑賞2h		
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計35h
	絵画、仏像スクラッチペン皿 実技8h 鑑賞2h				夏休み	デザイン、和のポスター、鑑賞 実技14h 鑑賞1h				冬休み	デザイン、鑑賞 DVDパッケージデザイン 実技8h 鑑賞2h		

<p>○授業について * 計画的に作品制作に取り組み、期限内に間に合うようにしましょう。 * アイデアが決まったら、作品を作るために必要な参考資料などを自分でも用意しておきましょう。 * テストだけでなく作品の仕上がりも重要な評価のポイントになってきます。テスト勉強と作品制作のどちらも力を抜かずに取り組んでください。 * お互いの作品について、よいところを見つけあい、自分の作品に生かしましょう。 * 自分なりの表現方法を工夫して、創るということを楽しみながら制作しましょう。 * 説明をよく聞き、集中力を持続させて制作しましょう。 * 作品は最後まで丁寧に作り上げ、自分の作品も人の作品も大切にしましょう。</p>	<p>○家庭学習について * 新題材に入ったら、家庭でも構想を練っておきましょう。限られた授業時間の多くを制作時間にあてることができるようにしましょう。 * 興味のもてる展覧会があったら、自分の目で「本物」を見に行ってみましょう。 * 美術館に行かなくても、身の回りにはたくさんの「美術」が隠れています。学んだことをもとに、あらゆるものに目を向けてみましょう。</p> <p>○試験に向けて * 授業中に配られるワークシートがとても重要になります。しっかりと保管して復習できるようにしましょう。 * 時間のある時に教科書や資料集を開き、美術の知識に親しみましょう。</p>
---	---

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、造形的に表している。	造形的なよさや美しさ、構図の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動取り組もうとしている。
評価資料	・提出物 ・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・作品 ・定期考査	・授業への取り組み ・ワークシート ・作品 ・定期考査